

〔I〕 次の文章を読み、設問1～5に答えなさい。

古代社会において、神々の存在は権力と結びつき、その支配を正当化するなど重要な役割を担ってきた。たとえば、メソポタミアは多神教世界であったが、スサで発見されたハンムラビ法典碑には **A** 神を崇拝するハンムラビ王の姿が彫られていた。一方、エジプトでは、新王国時代、アメンホテプ4世は^B宗教改革を断行し、都をテル=エル=アマルナへ移した。また、靈魂の不滅を信じる古代エジプト人の死生観を示す資料として知られる **C** には死者の生前のおこないがオシリス神の前で審判される様子が描かれ、ミイラとともに埋葬された。インダス文明の場合、モエンジョ=ダロ遺跡からは、のちのヒンドゥー教の三大神の一つである **D** 神に類似した印章も出土している。中国では、天の命を受けて統治をおこなう支配者を天子と呼んだ。旧大陸とは遠く離れたインカ文明でも王は **A** の子と考えられていた。

設問1 空欄Aにあてはまる語句を記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問2 下線部Bについて、アメンホテプ4世が信仰を強いた神として正しいものを次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア ホルス イ アモン ウ アトン エ ラー

設問3 空欄Cにあてはまる語句を記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問4 空欄Dにあてはまる語句を次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア シヴァ イ ガネーシャ ウ インドラ エ ハヌマーン

設問5 下線部Eの呼称が現れるのはどの時代か。次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア 殷 イ 西周 ウ 東周 エ 秦

〔Ⅱ〕 次の文章を読み、設問1～7に答えなさい。

イタリア半島は、アルプス以北に興った諸民族・諸国家の侵入を繰り返し受けてきた。古くは古代イタリア人やガリア人の侵入を受けたが、ローマが勃興するに及んで、イタリア半島への北方からの侵入はしばらく止んだ。しかし、ローマの勢力が衰えると、イタリア半島は再び北方から脅かされるようになった。イタリア北部には5世紀にはフン人が侵入し、西ローマが滅んだ後には、ゲルマン系の東ゴート人、続いてランゴバルド人が侵入し、彼らはイタリア半島に王国を建設した。ランゴバルド王国は、やはりアルプスの北方に興ったフランク人の国家に滅ぼされた。その後も、イタリア半島は、中・近世を通じて、神聖ローマ帝国、あるいはフランスの侵入を受け続けた。このようなイタリア半島の歴史の中では、イタリアから興ってアルプス以北を逆に征服したローマは、むしろ例外であった。

設問1 下線部Aの民族が定住していた地域を前1世紀に征服し、その征服記録を残した古代ローマの政治家の名を記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問2 下線部Bの国家は、その初期においてエトルリア人の影響を受けて発展した。エトルリア人について述べた下記の文ア～エのうち、正しいものを一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア インド＝ヨーロッパ語族に属する。
- イ 南イタリアにその勢力の中心があった。
- ウ 前6世紀にこの民族出身の王がローマから追放された。
- エ アレクサンドロス大王によって征服された。

設問3 下線部Cの出来事が起こったとき、フン人の王アッティラと交渉し、その軍を引き上げさせたローマ教皇の名を記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問4 下線部Dの民族を率いてイタリア半島に入り、国を建てた王の名として正しいものを次のア～エのなかから一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア ガイセリック イ テオドリック ウ アラリック エ クヌート

設問5 下線部Eの国家の歴史について述べた下記の文ア～エのうち、誤っているものを一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア クローヴィスは、496年にアタナシウス派に改宗した。
- イ カール＝マルテルは、トゥール・ポワティエ間の戦いでイスラーム勢力を破った。
- ウ カール＝マルテルの子ピピンは、751年にカロリング朝を開いた。
- エ メルセン条約とこれに続いたヴェルダン条約で分割された。

設問6 下線部Fの国家の最初の王朝の名として正しいものを次のア～エのなかから一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア メロヴィング朝 イ シュタウフェン朝 ウ ザクセン朝 エ ノルマン朝

設問7 下線部Gの国の最初の王朝であるカペー朝は987年に興ったが、この王朝が断絶した年代として正しいものを次のア～エのなかから一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 1154年 イ 1254年 ウ 1328年 エ 1453年

〔Ⅲ〕 次の文章を読み、設問1～5に答えなさい。

前近代の西アジア・北アフリカでは、ムスリム諸王朝による支配が長く続いたが、諸王朝の版図を越えて人々の移動と交流は盛んであった。遠隔地まで比較的速やかにモノが運ばれ、知識、技術、制度、思想が伝えられていった。この移動には、商人による交易のための旅や、宗教的な巡礼・参詣だけでなく、ウラマーが学問を深めるための旅など、様々な目的や形態がみられた。

^A商人について言えば、彼らは広域にわたって移動し、交易と情報のネットワークを広げていた。また、ムスリム統治下に暮らすユダヤ教徒やキリスト教徒も、ムスリム諸王朝の間を旅していた。宗教的な旅について言えば、^Bメッカの巡礼だけでなく、その途中などに各地の聖所を参詣することも盛んであった。

一方、ウラマーやスーフィーなどが学問や師を求めた知的な旅について言えば、イスラームの教えによって奨励されており、メッカ巡礼とも深く結びついていた。そして、各地に彼らが教鞭を執ったり学んだりする^Cマドラサのような教育機関や、彼らの逗留を可能にする宗教施設が次々と建設されていった。これらを可能にした背景として、イスラームにおける寄進・寄進財産を意味する D の存在や、^E統一的な法や制度の普及を挙げることができる。

設問1 下線部Aに関連して述べた下記の文ア～エのうち、誤っているものを一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア ウマイヤ朝では、ディーナール銀貨が広く流通した。
- イ マムルーク朝は、香辛料や砂糖の取引を統制下において、利潤を得た。
- ウ キャラヴァンサライと呼ばれる隊商宿が、整備された。
- エ ムスリム商人はダウ船を使用し、インド洋交易を行った。

設問2 下線部Bの都市に関連して述べた下記の文ア～エのうち、誤っているものを一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア オスマン帝国は、この都市の保護権を獲得した。
- イ メッカ巡礼は、イスラームの六信五行の一つに数えられている。
- ウ 622年に、預言者ムハンマドがメディナからこの都市へ移住したことを、ヒジュラと言う。
- エ 1932年に、サウジアラビア王国が成立した。

設問3 下線部Cに関連して、ニザーミーヤ学院で教えていた人物の名として正しいものを、次のア～エのうちから一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア タバリー イ フワーリズミー ウ ガザーリー エ フィルドゥーシー

設問4 空欄Dにあてはまる語を、記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問5 下線部Eに関連して、イスラームの司法制度における裁判官は何と呼ばれていたか、その名称を記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

〔Ⅳ〕 次の文章を読み、設問 1～5 に答えなさい。

ヨーロッパでは、17世紀に入ると16世紀からの経済成長がとまり、危機の時代となった。とりわけドイツの危機は大きく、外国勢力も介入した三十年戦争^Aと呼ばれる大規模な戦乱はその象徴であった。

三十年戦争は1648年の^B C 条約で終結し、長年戦場となったドイツは、その後長く停滞することになったものの、北ドイツではプロイセン^Dが急速に成長しはじめた。

設問 1 下線部 A の世紀に始まったものを下記のなかから一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア バラ戦争 イ シュマルカルデン戦争 ウ イタリア戦争 エ フロンドの乱

設問 2 下線部 B に関係する下記の文のうちで誤っているものを一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 旧教を強制されたベーメンの新教徒の反乱から始まった。
イ 傭兵隊長ヴァレンシュタインは、新教徒側にたち、旧教勢力と戦った。
ウ スウェーデン王グスタフ＝アドルフは、新教徒側にたつて戦争に介入した。
エ 旧教国フランスは、新教徒側にたつて参戦した。

設問 3 空欄 C に当てはまる語を、記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問 4 空欄 C の条約に関係する下記の文のうちで誤っているものを一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア アウクスブルクの和議を確認し、カルヴァン派にルター派と同等の権利を与えた。
イ フランスはアルザス地方を獲得した。
ウ スウェーデンは西ポンメルンを獲得した。
エ ルクセンブルクとオランダのハプスブルク家からの独立が、国際的に承認された。

設問 5 エルベ川以東に住む地主貴族で、下線部 D の国の君主権力を支えた階層の名を記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

〔V〕 次の文章を読み、設問1～6に答えなさい。

モンゴル高原から中国東北にかけての一带には、古くから遊牧民や狩猟民が居住し、ときには中国の王朝に対抗する政治勢力を形成した。もともとの地域に起源をもち、南方に勢力を拡大した北魏・遼・金なども、常に北方でのあらたな勢力の台頭を警戒しなければならなかった。^A

清はモンゴルや東北を版図に取り込み、比較的安定した統治を行ったが、ロシア帝国との関係が問題となる。アイグン条約・北京条約によって 左岸と沿海州がロシア領になると、ロシアのさらなる進出を防ぐため、長城以南から東北への移民を促進して人口を増やし、開発を進める動きが起こった。^C この動きは、20世紀に入ると加速し、人口構成を大きく変化させることになる。

下関条約で遼東半島の日本への割譲が取り決められたのに対し、ロシアは日本にはたらきかけて割譲を撤回させ、見返りとして東北を横断する東清鉄道の敷設権を獲得した。さらに、 事件を契機として、ロシアは東北の要地を軍事占領する。こうした動きに日本は反発を強め、ユーラシア各地でロシアと勢力争いをしていたイギリスも、日英同盟を結んで間接的に日本を支援した。日露戦争は、このような背景の下に起こったものである。戦後、日本とロシアは協約を結び、双方の「勢力範囲」を取り決めた。しかし、辛亥革命・ロシア革命などの大きな変動の中で、この地域の情勢は複雑に変転する。^E

設問1 下線部Aに関連する記述として、適切なものはどれか。次のア～エから一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 北魏は約100年にわたって平城に都を置いていたが、突厥の圧迫を避けて洛陽に遷都した。
- イ 北魏が東西に分裂すると、柔然がモンゴル高原から南下して東魏を滅ぼし、北斉を建国した。
- ウ 遼の支配を受けていた女真は、貢納の強要に反発して蜂起し、宋と結んで遼を滅ぼした。
- エ モンゴルのテムジンは、はじめ金に臣従していたが、離反して金を滅ぼし、チンギス=ハンと称した。

設問2 空欄Bにあてはまる語句を、記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問3 下線部Cのような動きは、東北以外の諸地域でも見られた。それらに関する記述として適切なものはどれか。次のア～エから一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 新疆では、イリ事件の後、ロシアの進出を恐れた清朝政府が漢人の移民を推進したため、ムスリムの大反乱が起こった。
- イ チベットでは、イギリスと結んだ独立運動が失敗し、ダライ=ラマ14世がインドに亡命した後、清朝政府が漢人の移民を進めた。
- ウ 華南では、アヘン戦争の後、客家と呼ばれる北方からの移民が大量に流入し、旧来の住民が太平天国の乱を起こす一因となった。
- エ 台湾では、日本の台湾出兵事件の後、清朝政府が大陸からの移民を奨励して開発を進め、福建から分離して独立の省とした。

設問4 空欄Dにあてはまる語句を、記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問5 下線部Eに関連する記述として、適切なものを次のア～エから一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア カージャール朝はイギリスの支援を受けてロシアに抵抗し、トルコマンチャーイ条約によってアルメニアの支配権を回復した。

イ イギリスはクリミア戦争でオスマン帝国側に立ってロシアと交戦し、戦後のベルリン条約でキプロスの領有を認められた。

ウ ロシアのアフガニスタン進出を警戒したイギリスは、第2次アフガン戦争を起こしてアフガニスタンを保護国化した。

エ ロシアの支持の下にイランでタバコ=ボイコット運動が起こると、イギリスは軍を送ってカージャール朝を滅ぼした。

設問6 下線部Fに関連する記述として、適切なものを次のア～エから一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

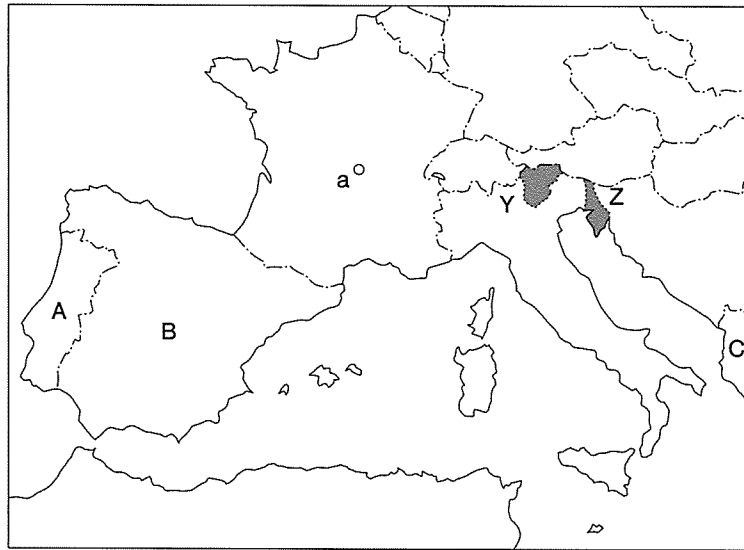
ア 辛亥革命の際、東北でも革命派が蜂起したが、李鴻章は張作霖の率いる北洋軍を派遣して鎮圧した。

イ ポーツマス条約で東清鉄道の長春-旅順口間の経営権を獲得した日本は、ロシア革命に乗じて同鉄道の全線を占領した。

ウ 奉天軍閥として自立した張作霖は、第1次奉直戦争によって一時北京政府の実権を握ったが、第2次奉直戦争に敗れて東北に撤退した。

エ 張作霖の死後、奉天軍閥を継承した張学良は、国民政府への帰順を表明し、日本との対立を強めた。

〔VI〕 下に掲げる地図（1925年当時）を参考にして、以下の設問1～7に答えなさい。設問1・2・3・6の解答は記述解答用紙の所定欄に書き、設問4・5・7の解答はマーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。



地図記号A・B・Cは国を指し、aは都市を指し、Y・Zは網掛けで示す地方を指す。

設問1 ウィーン体制期のイタリア半島は、多くの国家に分割されていたが、「カルボナリ」や「青年イタリア」など政治結社が統一運動を展開した。この「青年イタリア」を組織し、共和主義と民族統一を掲げた人物はだれか。その人物名を答えなさい。

設問2 1861年のイタリア統一後、1870年にヴァチカンを除く全教皇領がイタリアに併合され、その後、反オーストリア意識を持つ人々はオーストリア領のY地方とZ地方を「未回収のイタリア」と呼び、併合すべき土地と表現した。Y地方の名称は何か、答えなさい。

設問3 第1次世界大戦後、イタリアからヨーロッパ各国に広まったファシズムは、対外的には侵略主義となり、イタリアは1927年、地図中記号C国を保護国化し、1935年にはアフリカのエチオピアに侵攻した。C国の名称は何か、答えなさい。

設問4 1929年にラテラノ宮殿で調印された条約に関し、誤りを含んだ記述を一つ選びなさい。

- ア 条約時のイタリアでは、ムッソリーニが首相であった。
- イ この条約でイタリア政府は、ヴァチカン市国の独立を認めた。
- ウ この条約でイタリア政府は、カトリックをイタリアの国教と定めた。
- エ この条約でイタリア政府は、外交的にはローマ教皇庁を代理していくことになった。

設問5 地図中記号B国の内戦に関する以下の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- ア この国では、共和政が成立した1931年に、人民戦線内閣が誕生した。
- イ 人民戦線を率いるフランコ将軍が、この国の内戦に勝利して、内戦は終結した。
- ウ この国の内戦では、政府軍が人民戦線に圧倒される形で、敗北を喫した。
- エ この国の内戦が終了した1939年に、ドイツのポーランド侵攻によって第2次世界大戦がはじまった。

設問6 1940年にナチス＝ドイツに降伏したフランスでは、地図中記号aの地に政権が樹立され、第三共和政は終了した。この地の名称は何か、答えなさい。

設問7 地図中記号A国では、植民地の独立運動に対する軍事費増大による経済的荷重や非人道的政策に対する内外の批判が存在し、1974年、軍による無血クーデタによって民主化がなされた。以下のこの国に関わる記述のうち、誤りを含むものを一つ選びなさい。

ア モザンビークは、1975年にこの国から独立した。

イ アンゴラは、1975年にこの国から独立した。

ウ マカオは、イギリスの中国への香港返還に先だって、中国に返還された。

エ この国は、1986年にスペインとともにECに加盟した。

〔Ⅶ〕 次の文章を読み、図1～4を見て、設問1～5に答えなさい。

19世紀後半から20世紀にかけて、美術界では新しい価値を提示する前衛芸術が次々と展開された。

20世紀初頭、絵画を現実世界の再現という伝統的役割から解放したのは、おもに2人のアーティストを中心とする動向である。マチスは、実際に見える色にとらわれない自由な色彩を用い、**A**と呼ばれる作風を確立した(図1)。一方**B**は、描く対象を、時間的にも空間的にも異なる諸視点からとらえたイメージを同一画面に再構成して示すことで、キュビズムと呼ばれる作風に到達する(図2)。

彼らが示した芸術は、図3を描いたダリに代表される**C**や抽象美術など、さらなる新しい美術動向を導くようになる。これらの芸術は、芸術固有の表現形式の刷新という枠を越え、視覚、認識、精神性、存在、時間、空間といった人間の本質的要素にかかわる問題を内包しており、同時代の原子物理学や哲学などとの関連性も考えられる。とりわけ**D**の相対性理論、**E**の精神分析学の影響が指摘されている。

こうした状況は、絵画芸術に限られることなく、たとえば建築の分野などにも認められる。2016年世界遺産として登録された東京の国立西洋美術館(図4)を設計した建築家**F**は、画家としても活動し、前衛芸術家たちと交流し最新の芸術思想を共有するなかで、歴史的様式から解放された独自のモダニズム建築を生み出した。

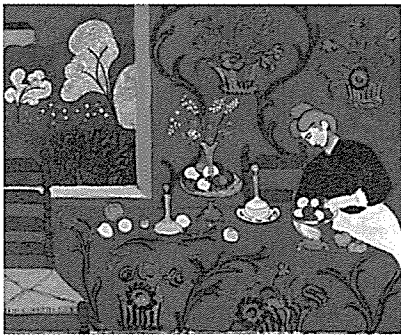


図1 《赤の調和》1908年
エルミタージュ美術館

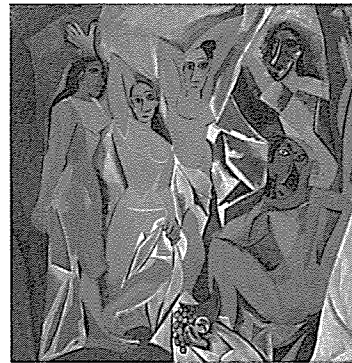


図2 《アヴィニヨンの娘たち》1907年
ニューヨーク近代美術館

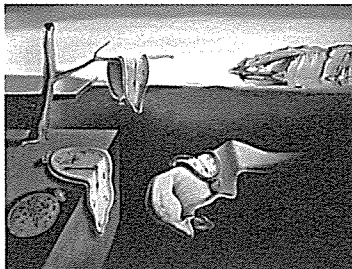


図3 《記憶の固執》1931年
ニューヨーク近代美術館



図4 《国立西洋美術館》1958-59年
東京

設問1 空欄A、Bにあてはまる言葉を次のア～エから一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア Aフォーヴィズム Bピカソ
- イ A自然主義 Bセザンヌ
- ウ A新造形主義 Bピカソ
- エ Aフォーヴィズム Bシケイロス

設問2 空欄Cにあてはまる言葉を，記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問3 空欄D，Eにあてはまる人名を次のア～エから一つ選び，マーク解答用紙の所定欄に記しなさい。

- ア Dマイヤー Eサルトル
- イ Dアインシュタイン Eフロイト
- ウ Dアインシュタイン Eレヴィ=ストロース
- エ Dハイゼンベルク Eカミュ

設問4 図1，図2の絵画にかかわる解説として正しいのはどれか。ア～エから一つ選び，マーク解答用紙の所定欄に記しなさい。

- ア 図1ではイスラーム美術の装飾性，図2ではアフリカ美術の影響が認められる。
- イ 図1ではフェルメールの細密な描写，図2ではレンブラントの明暗法が指摘できる。
- ウ 図1では印象派風の室内風景，図2ではギリシャ彫刻を思わせる人物像が見出せる。
- エ 図1ではルネサンス絵画の遠近法，図2ではバロック美術の空間処理が見出せる。

設問5 空欄Fにあてはまる人名を，記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

[以 下 余 白]